

# 第 68 回（令和 2 年）医療扶助実態調査 結果の概要 （令和 2 年 6 月審査分）

## 目次

I	統計の概要 .....	1
II	結果の概要 .....	2
	【 医療内容 】 .....	2
	1. 一般診療件数の入院－入院外・傷病分類別の状況 .....	2
	2. 一般診療件数の入院－入院外・年齢階級・傷病分類別の状況 .....	3
	3. 一般診療件数の傷病分類・入院期間－診療期間別の状況 .....	5
	4. 一般診療件数の入院期間－診療期間・傷病分類別の状況 .....	7
	5. 一般診療件数の入院－入院外・病院－診療所・傷病分類別の状況 .....	9
	6. 一般診療件数と日数と決定点数の入院－入院外・傷病分類別の状況 .....	11
	7. 1 件当たり日数と 1 件当たり決定点数の入院－入院外・都道府県－指定都市－中核市別の状況 .....	13
	【 調剤内容 】 .....	14
	8. 調剤行為の状況 .....	15
III	用語の解説 .....	16

## I 統計の概要

### 1 目的

この調査は、生活保護法による医療扶助を受給している者の診療内容を把握し、生活保護受給者に対する医療対策その他厚生労働行政の企画運営に必要な基礎資料を得ることを目的とする。

### 2 調査客体

この調査の客体は、福祉事務所に保管される令和2年6月基金審査分（4・5月診療分）の診療報酬明細書及び調剤報酬明細書（以下「明細書」という。）のうち、一般診療（病院・一般診療所）の入院分及び入院外分、歯科診療分、調剤分について、レセ電仕様明細書の全データを対象とした。ただし、歯科診療の入院分は調査客体としない。

### 3 調査事項

診療報酬明細書の記入事項のうち、傷病名、診療実日数、診療行為別点数等の事項  
調剤報酬明細書の記入事項のうち、受付回数、処方調剤、調剤点数等の事項

### 4 利用上の注意

#### （1）表章記号の規約

計数のない場合	—
表章単位の2分の1未満の場合	0,0.0
統計項目のあり得ない場合	・
計数不明又は計数を表章することが不適当な場合	・・・

（2）掲載の数値は、四捨五入のため内訳の合計が総数に合わない場合等がある。

（3）集計は、一次審査分であり、再審査、返戻等は含まない。

（4）診療報酬明細書及び調剤報酬明細書の集計は、記録された内容に基づき集計した結果である。

## Ⅱ 結果の概要

### 【 医療内容 】

#### 1. 一般診療件数の入院－入院外・傷病分類別の状況

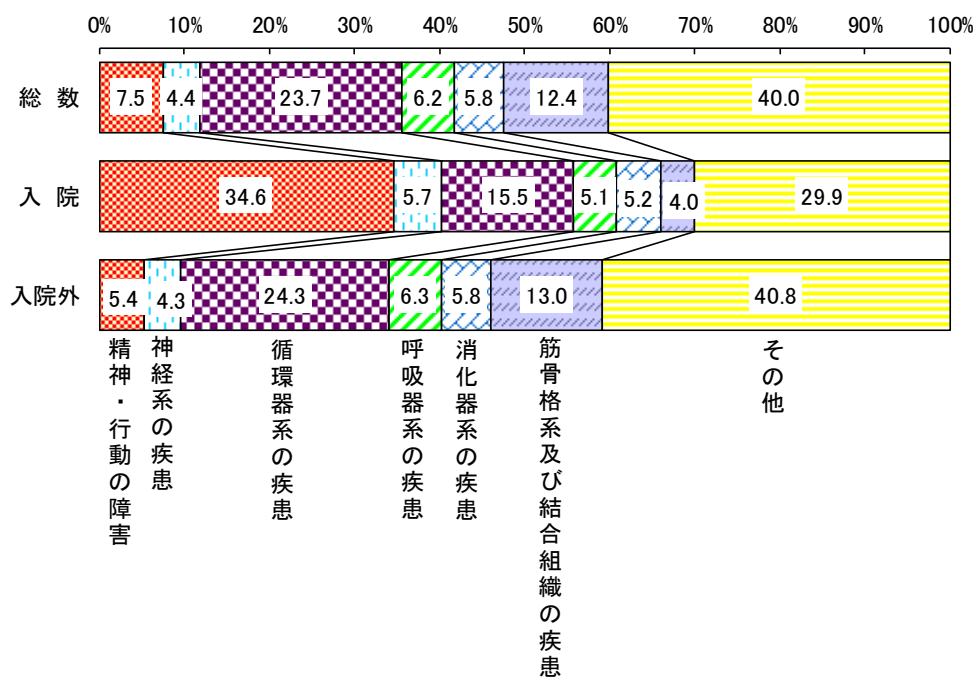
一般診療件数の傷病分類別の構成割合は、総数では、「循環器系の疾患」が 23.7%と「その他」以外では最も多く、次いで「筋骨格系及び結合組織の疾患」が 12.4%、「精神・行動の障害」が 7.5%と続いている。

入院－入院外別にみると、入院では「精神・行動の障害」が 34.6%と最も多く、入院外では「循環器系の疾患」が 24.3%と「その他」以外では最も多い。

表 1 一般診療件数，入院－入院外・傷病分類別

	件 数			構 成 割 合		
	総 数	入 院	入 院 外	総 数	入 院	入 院 外
	件	件	件	%	%	%
総 数	1,740,838	126,567	1,614,271	100.0	100.0	100.0
精 神 ・ 行 動 の 障 害	130,342	43,835	86,507	7.5	34.6	5.4
神 経 系 の 疾 患	77,256	7,169	70,087	4.4	5.7	4.3
循 環 器 系 の 疾 患	412,619	19,630	392,989	23.7	15.5	24.3
呼 吸 器 系 の 疾 患	107,745	6,439	101,306	6.2	5.1	6.3
消 化 器 系 の 疾 患	100,421	6,519	93,902	5.8	5.2	5.8
筋 骨 格 系 及 び 結 合 組 織 の 疾 患	215,472	5,112	210,360	12.4	4.0	13.0
そ の 他	696,983	37,863	659,120	40.0	29.9	40.8

図 1 一般診療件数の構成割合，入院－入院外・傷病分類別



## 2. 一般診療件数の入院－入院外・年齢階級・傷病分類別の状況

一般診療件数の傷病分類別の構成割合を年齢階級別にみると、0～14歳では「呼吸器系の疾患」が30.1%と多くなっている。「循環器系の疾患」は加齢とともに多くなり、65歳以上においては30.0%となっている。

入院－入院外別にみると、入院では、15歳以上において「精神・行動の障害」が多く、特に15～34歳では65.8%、35～54歳では61.0%といずれも6割超となっている。

入院外では、「呼吸器系の疾患」が0～14歳で30.4%と多くなっているが、加齢とともに少なくなっている。一方「循環器系の疾患」は加齢とともに多くなり、65歳以上では30.9%となっている。

図2－1 一般診療件数の構成割合，年齢階級・傷病分類別（総数）

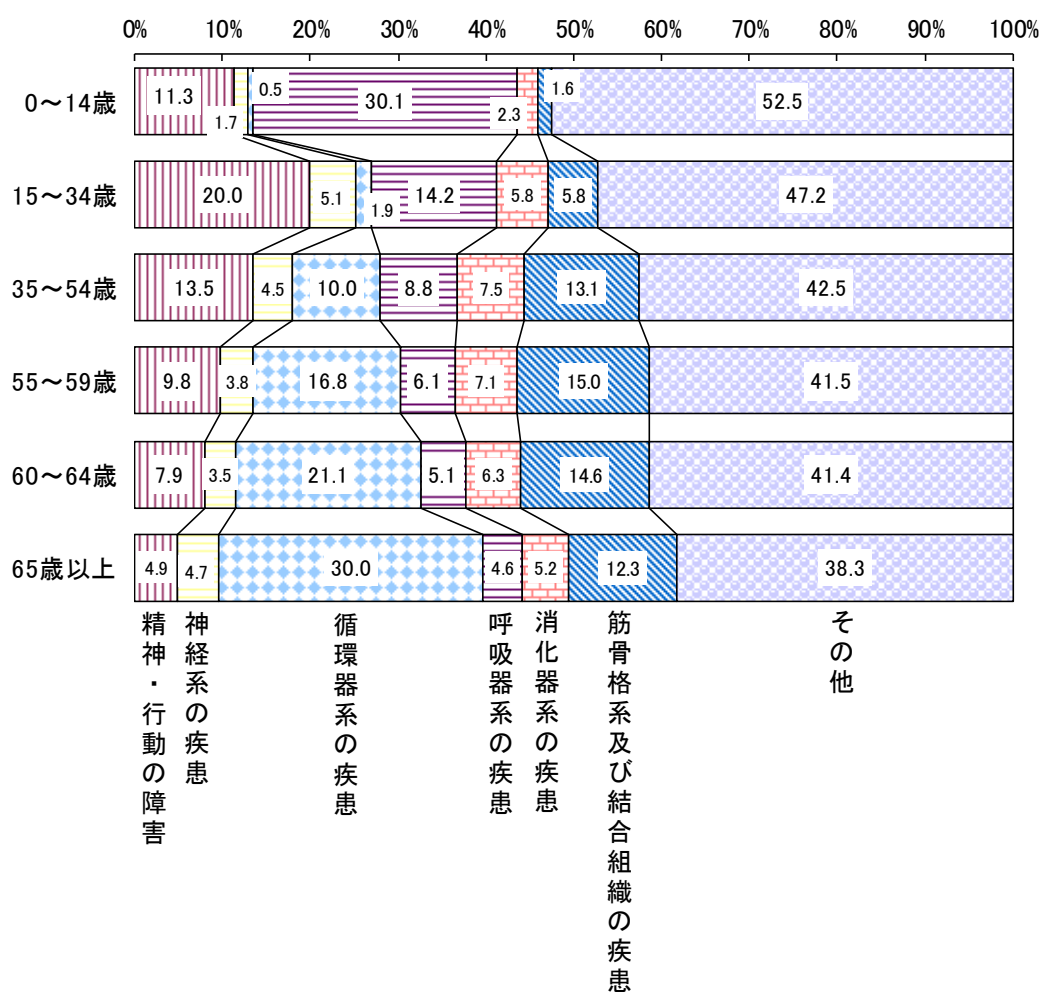


図 2 - 2 一般診療件数の構成割合，年齢階級・傷病分類別（入院）

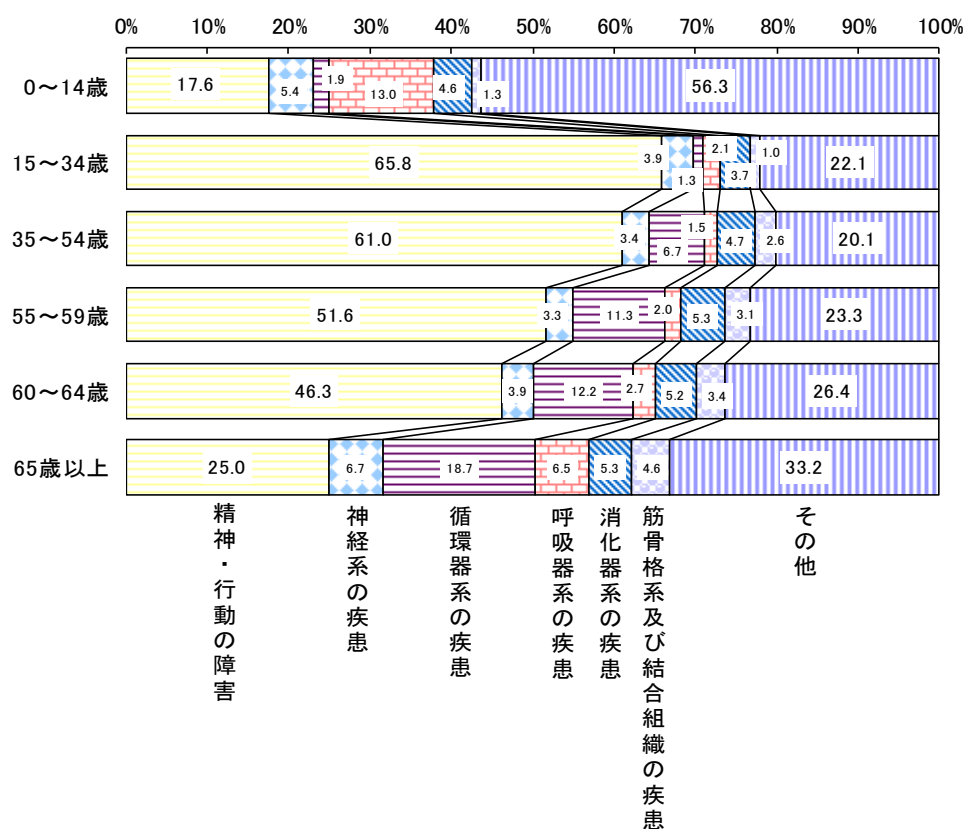
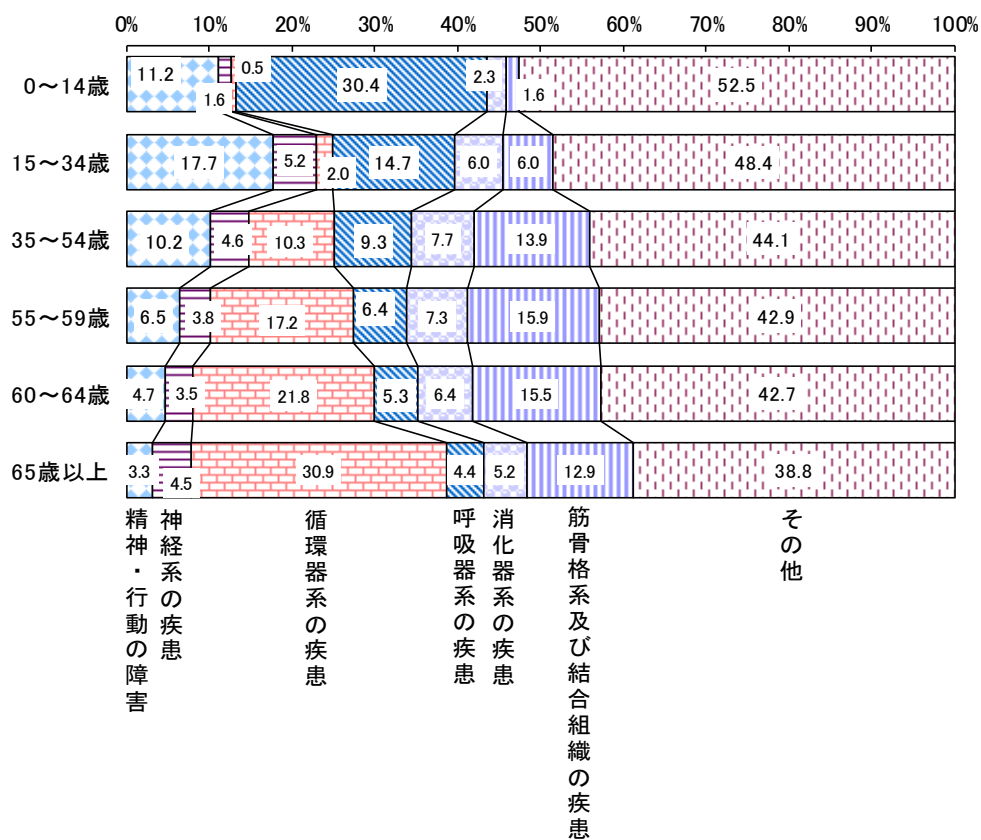


図 2 - 3 一般診療件数の構成割合，年齢階級・傷病分類別（入院外）



### 3. 一般診療件数の傷病分類・入院期間－診療期間別の状況

一般診療件数（入院）の入院期間別の構成割合は、総数では「3か月未満」が53.4%であり、「5年以上」が16.5%となっている。傷病分類別にみると、精神・行動の障害では「5年以上」が40.8%と5割近くとなっている。

また、精神・行動の障害、神経系の疾患以外の疾患においては、「3か月未満」が過半数となっている。

一般診療件数（入院外）の診療期間別の構成割合を傷病分類別にみると、循環器系の疾患、消化器系の疾患において「3年以上」が過半数となっている。

図3－1 一般診療件数の構成割合，傷病分類・入院期間別（入院）

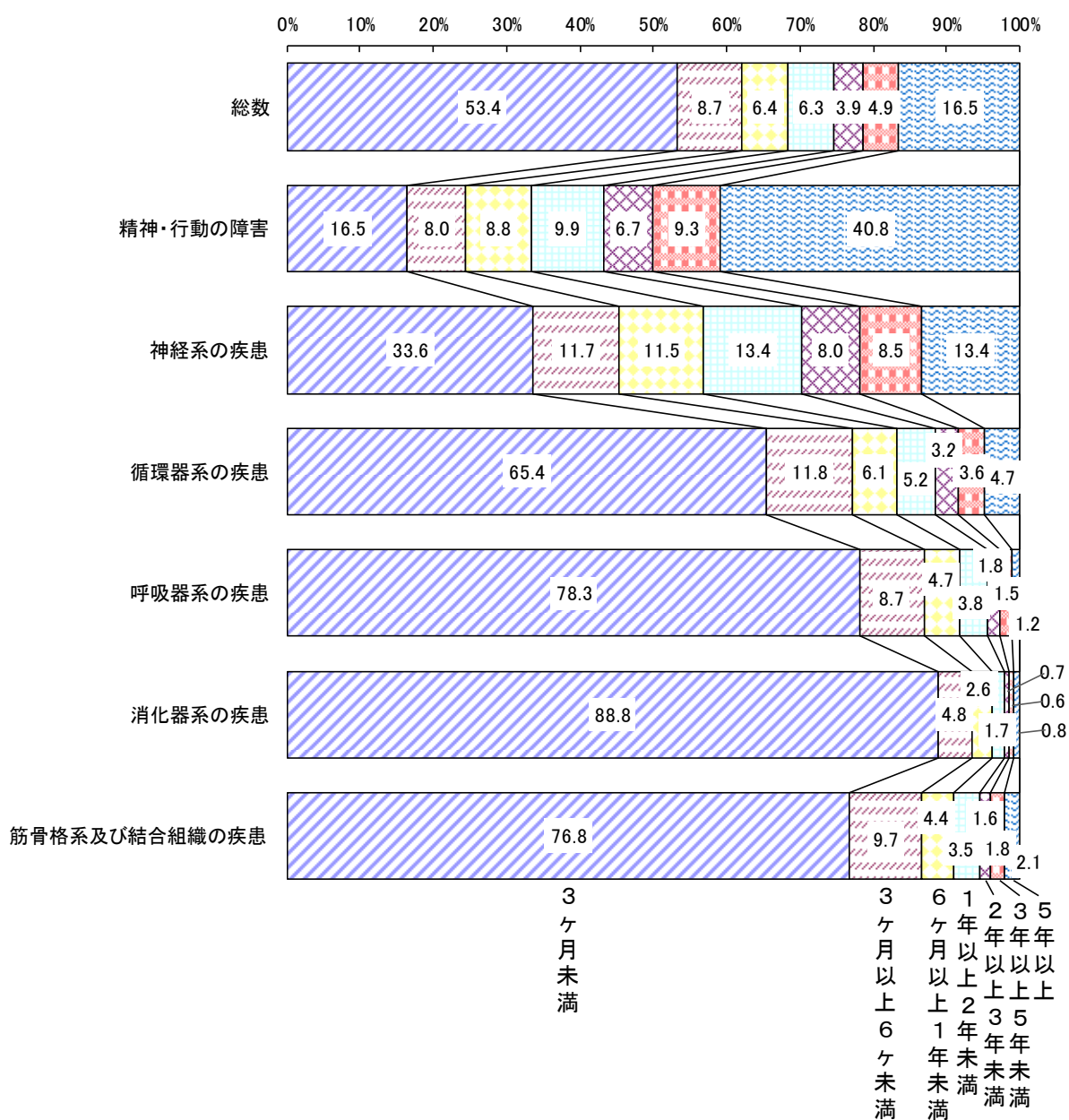
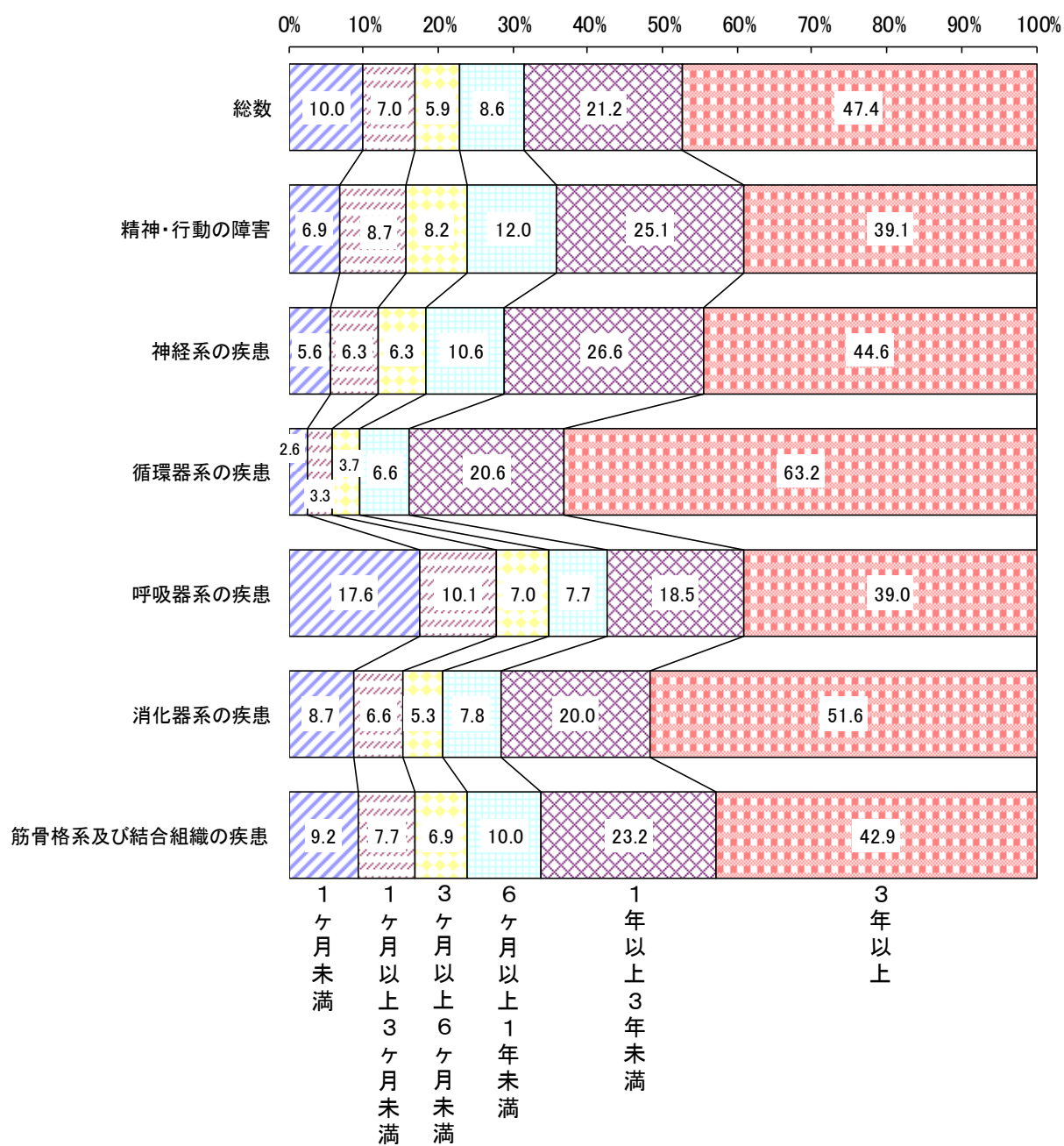


図 3 - 2 一般診療件数の構成割合，傷病分類・入院期間別（入院外）



#### 4. 一般診療件数の入院期間・傷病分類別の状況

一般診療件数（入院）の傷病分類別の構成割合を入院期間別にみると、入院期間が長くなるほど「精神・行動の障害」の割合が高くなる傾向にあり、「5年以上」では85.5%となっている。

一般診療件数（入院外）の傷病分類別の構成割合を診療期間別にみると、診療期間が長くなるほど「循環器系の疾患」の割合が高くなる傾向にあり、「3年以上」では32.5%となっている。

図4-1 一般診療件数の構成割合，入院期間・傷病分類別（入院）

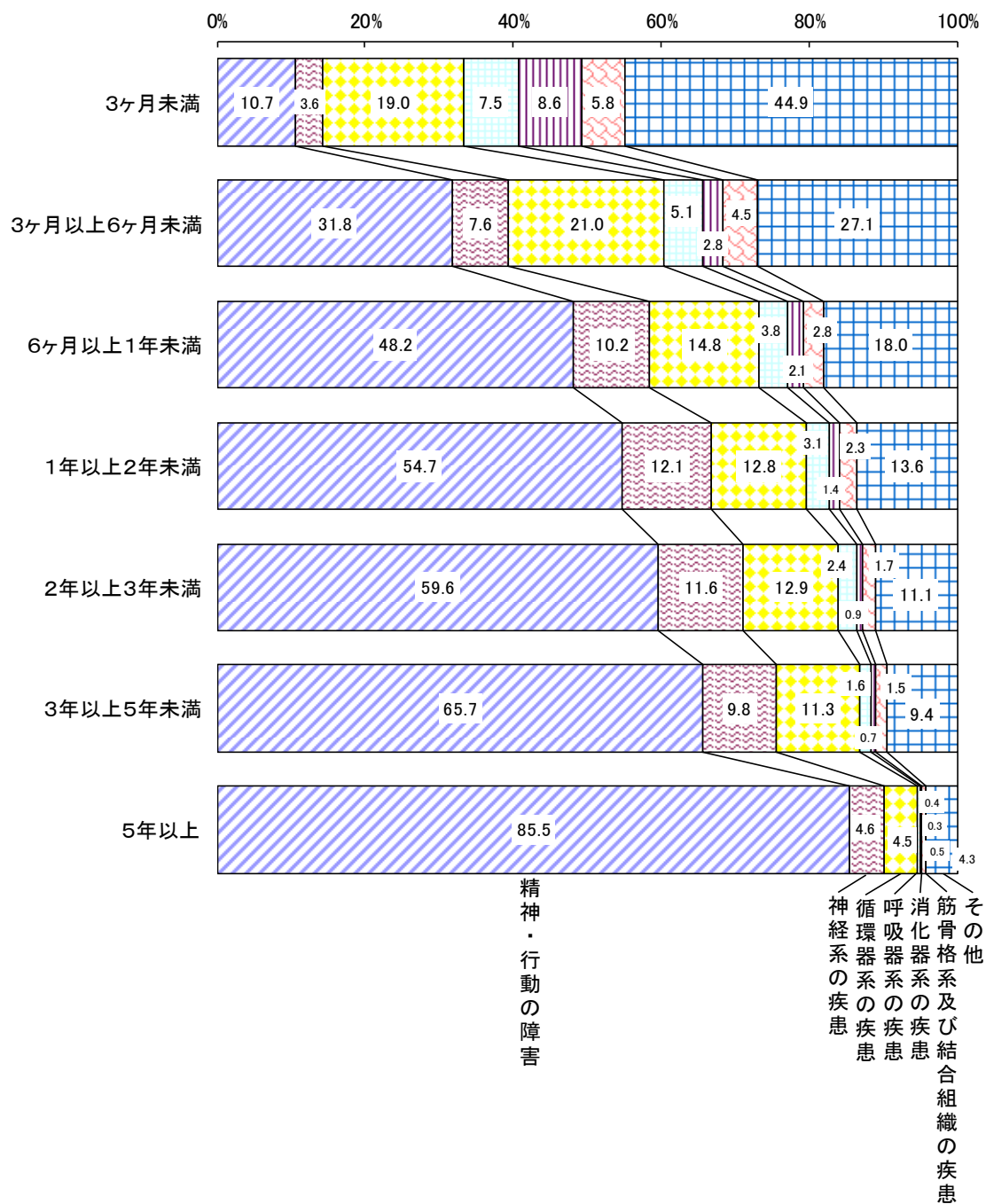
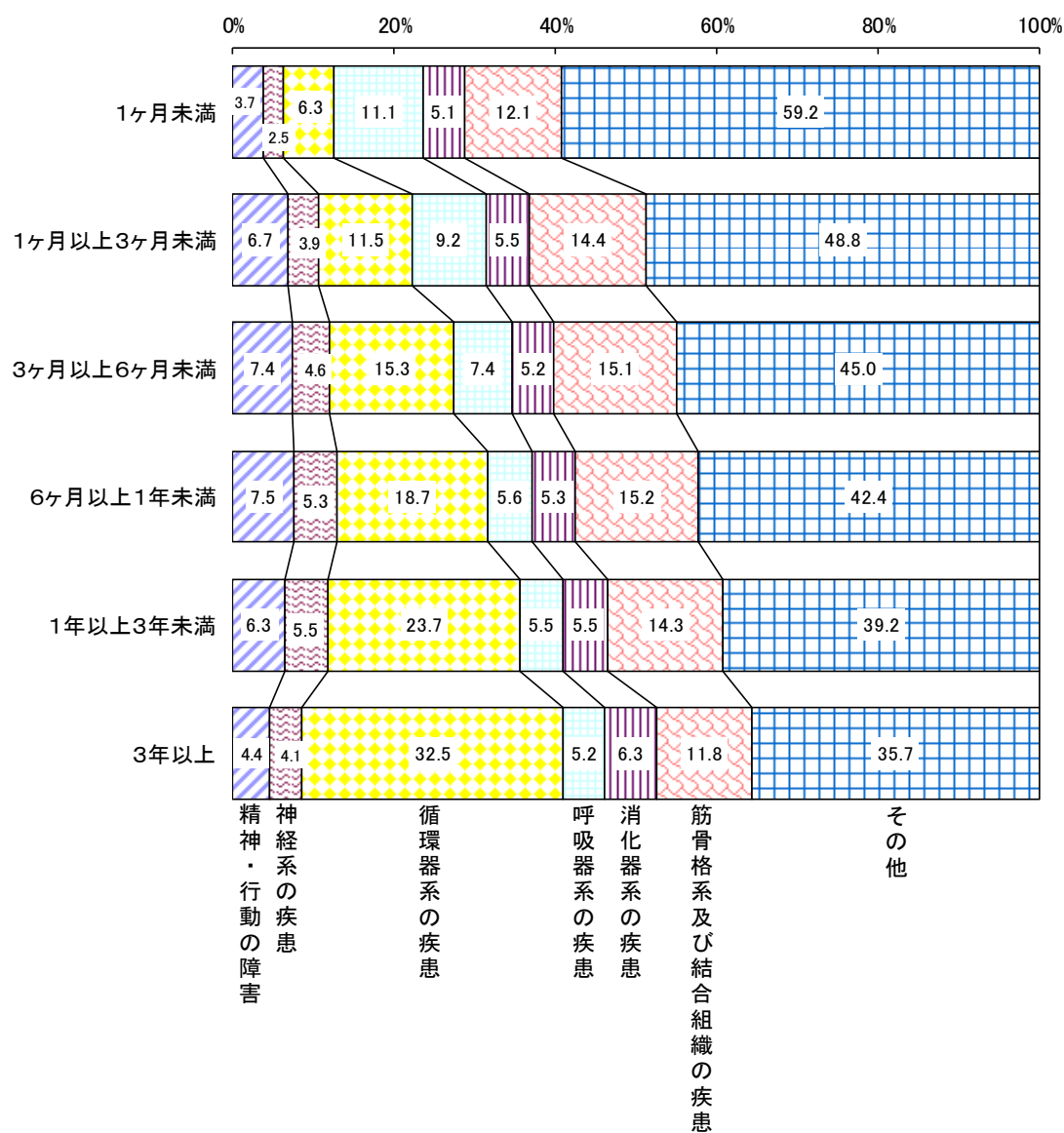


図 4－2 一般診療件数の構成割合，入院期間・傷病分類別（入院外）



## 5. 一般診療件数の入院－入院外・病院－診療所・傷病分類別の状況

一般診療件数を病院－診療所別にみると、総数では、「病院」が 38.2%、「診療所」が 61.8%と診療所が多い。

これを入院－入院外別にそれぞれ病院－診療所別にみると、入院では「病院」が 98.4%を占めている。入院のうち、病院における傷病分類別構成割合は「精神・行動の障害」が 35.1%と最も多くなっており、診療所では「循環器系の疾患」が 25.4%となっており、ともに「その他」以外では最も多い。

また、入院外では「病院」が 33.5%、「診療所」が 66.5%となっており、傷病分類別構成割合は「循環器系の疾患」が病院で 22.8%、診療所で 25.1%となっており、ともに「その他」以外では最も多い。

図 5－1 一般診療件数の構成割合，病院－診療所別（総数）

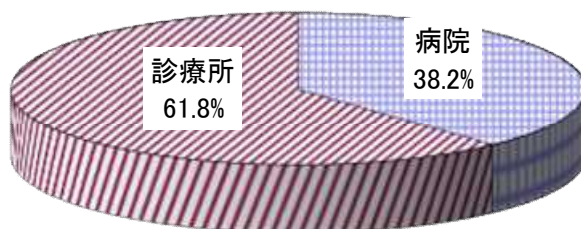


図 5－2 一般診療件数の構成割合，病院－診療所別（入院）

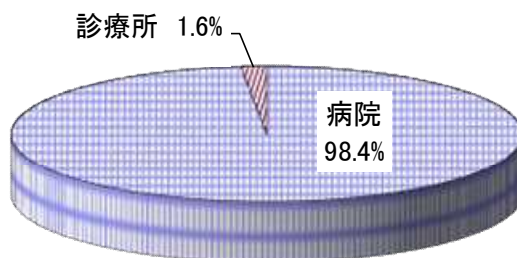


図 5－3 一般診療件数の構成割合，病院－診療所・傷病分類別（入院）

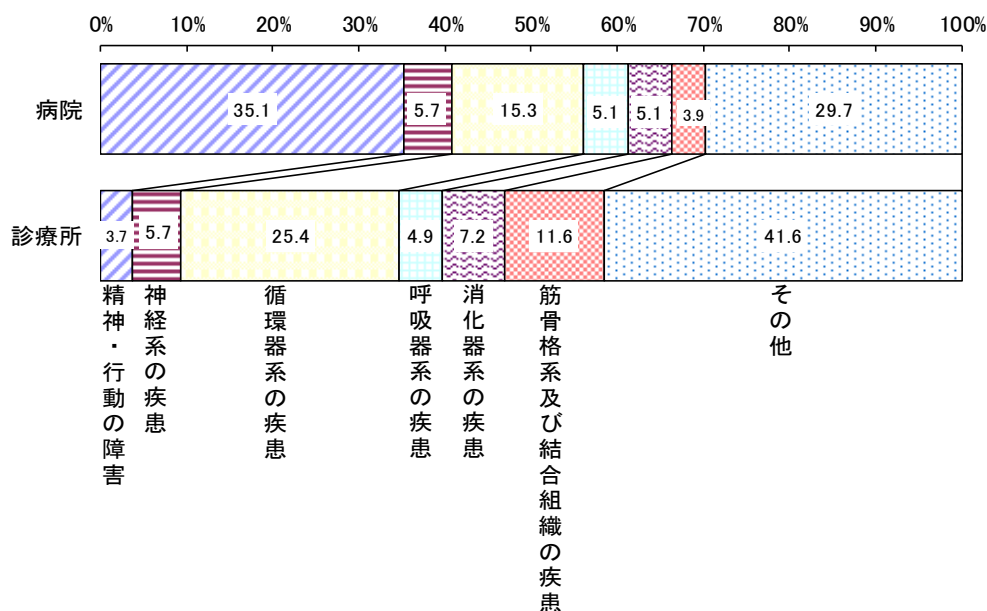


図 5－4 一般診療件数の構成割合，病院－診療所別（入院外）

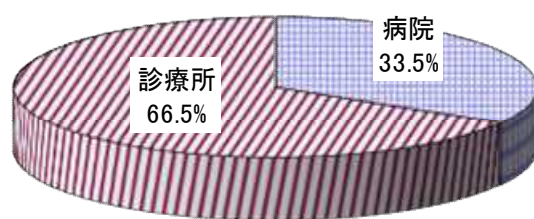
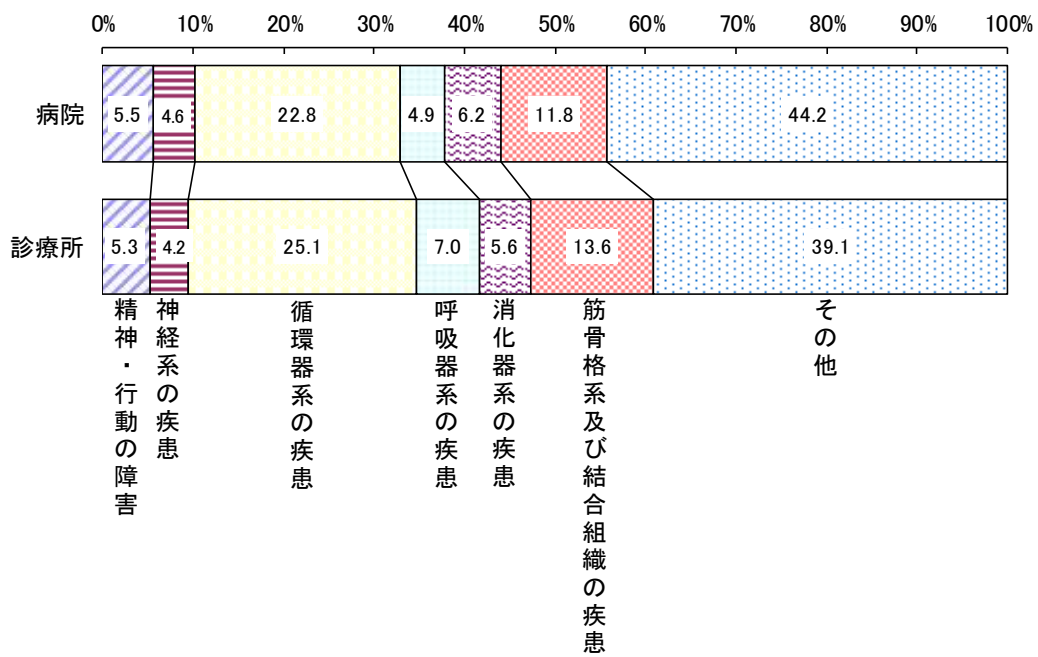


図 5－5 一般診療件数の構成割合，病院－診療所・傷病分類別（入院外）



## 6. 一般診療件数と日数と決定点数の入院－入院外・傷病分類別の状況

### (1) 入院

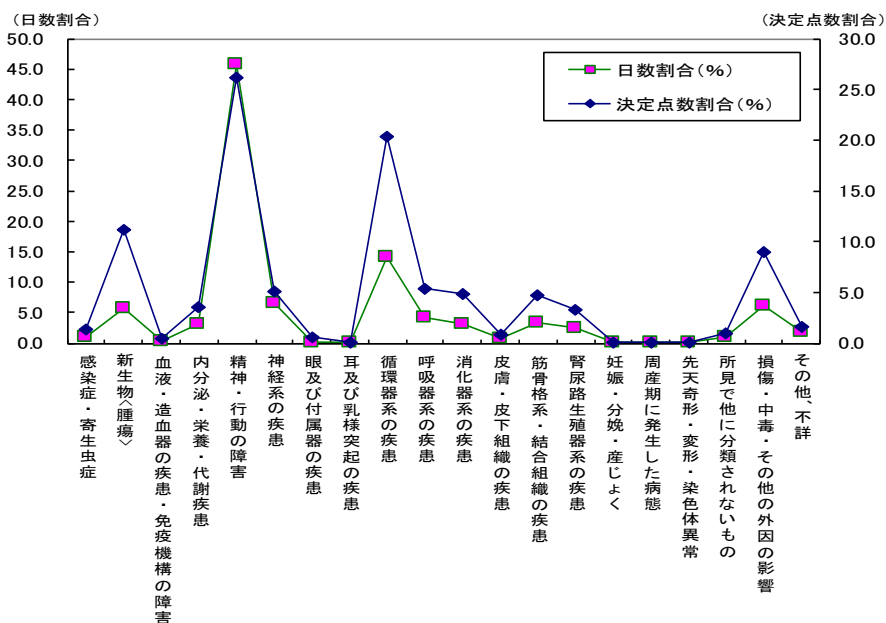
全入院日数に対する傷病分類別の入院日数の構成割合は、「精神・行動の障害」が45.7%と最も多く、次いで「循環器系の疾患」が14.2%となっている。

全決定点数に対する、傷病分類別の決定点数の構成割合も「精神・行動の障害」が26.2%と最も多く、次いで「循環器系の疾患」が20.4%となっている。

表6－1 一般診療件数－日数－決定点数－構成割合，傷病分類別（入院）

	件数	日数	決定点数	日数割合 (%)	決定点数 割合(%)
総数	126,567	2,730,556	6,611,706,592	100.0	100.0
感染症・寄生虫症	1,563	24,345	91,021,401	0.9	1.4
新生物＜腫瘍＞	11,006	154,247	739,806,310	5.6	11.2
血液・造血系の疾患・免疫機構の障害	531	8,237	31,839,672	0.3	0.5
内分泌・栄養・代謝疾患	5,016	88,266	233,942,539	3.2	3.5
精神・行動の障害	43,835	1,249,136	1,733,661,192	45.7	26.2
神経系の疾患	7,169	181,741	335,144,020	6.7	5.1
眼及び付属器の疾患	1,075	5,795	38,017,804	0.2	0.6
耳及び乳様突起の疾患	246	1,985	7,412,269	0.1	0.1
循環器系の疾患	19,630	388,177	1,350,553,616	14.2	20.4
呼吸器系の疾患	6,439	114,188	355,979,934	4.2	5.4
消化器系の疾患	6,519	83,176	321,245,977	3.0	4.9
皮膚・皮下組織の疾患	1,135	20,484	59,774,698	0.8	0.9
筋骨格系・結合組織の疾患	5,112	92,457	315,027,609	3.4	4.8
腎尿路生殖器系の疾患	4,237	65,751	222,199,259	2.4	3.4
妊娠・分娩・産じょく	159	1,123	5,519,721	0.0	0.1
周産期に発生した病態	81	687	3,218,811	0.0	0.0
先天奇形・変形・染色体異常	86	1,482	6,405,983	0.1	0.1
所見で他に分類されないもの	1,351	26,892	63,618,346	1.0	1.0
損傷・中毒・その他の外因の影響	9,258	170,430	593,801,126	6.2	9.0
その他、不詳	2,119	51,957	103,516,305	1.9	1.6

図6－1 日数割合－決定点数割合，傷病分類別（入院）



注) 一般診療分のレセ電仕様明細書データのうち、傷病名(SY)レコードに格納されている主傷病の傷病名コードが未コードであった場合は、不詳として表章している。

## (2) 入院外

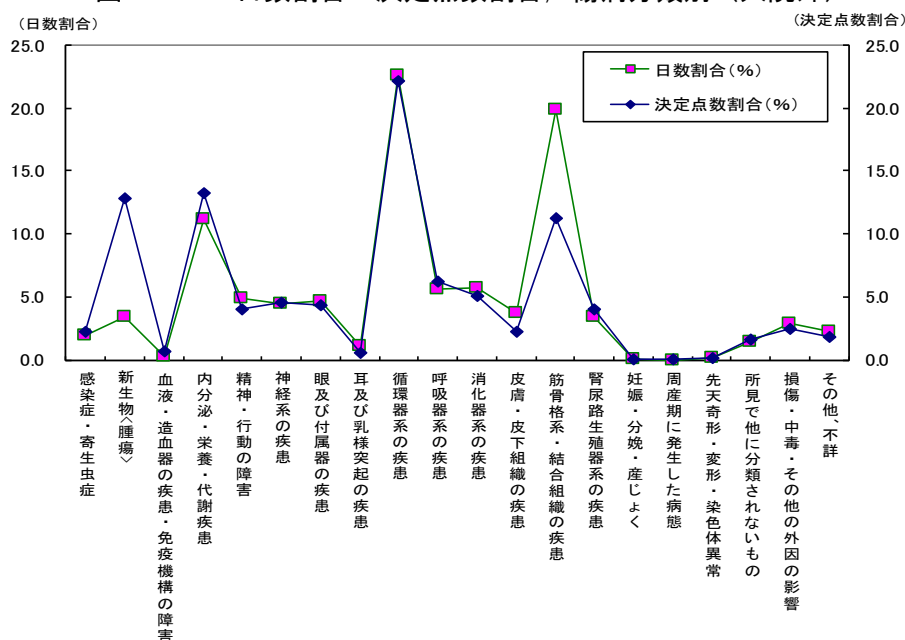
全入院外診療日数に対する、傷病分類別の診療日数の構成割合は、「循環器系の疾患」が 22.6%と最も多く、次いで「筋骨格系・結合組織の疾患」が 19.9%となっている。

全決定点数に対する傷病分類別の決定点数の構成割合も「循環器系の疾患」が 22.2%と最も多く、次いで「内分泌・栄養・代謝疾患」が 13.3%となっている。

表 6-2 一般診療件数-日数-決定点数-構成割合, 傷病分類別 (入院外)

	件数	日数	決定点数	日数割合 (%)	決定点数割合 (%)
総数	1,614,271	2,899,501	2,905,443,911	100.0	100.0
感染症・寄生虫症	34,475	56,795	67,417,308	2.0	2.3
新生物<腫瘍>	59,153	100,334	372,838,643	3.5	12.8
血液・造血器の疾患・免疫機構の障害	5,603	8,833	19,667,888	0.3	0.7
内分泌・栄養・代謝疾患	200,687	324,957	386,443,517	11.2	13.3
精神・行動の障害	86,507	143,105	116,931,136	4.9	4.0
神経系の疾患	70,087	130,529	132,659,416	4.5	4.6
眼及び付属器の疾患	109,057	135,501	128,268,380	4.7	4.4
耳及び乳様突起の疾患	17,723	31,187	16,930,843	1.1	0.6
循環器系の疾患	392,989	655,494	643,578,680	22.6	22.2
呼吸器系の疾患	101,306	163,462	181,061,644	5.6	6.2
消化器系の疾患	93,902	167,552	147,780,936	5.8	5.1
皮膚・皮下組織の疾患	76,463	109,229	66,925,903	3.8	2.3
筋骨格系・結合組織の疾患	210,360	576,740	328,711,940	19.9	11.3
泌尿路生殖器系の疾患	52,286	99,053	116,691,861	3.4	4.0
妊娠・分娩・産じょく	732	1,186	783,420	0.0	0.0
周産期に発生した病態	352	468	631,949	0.0	0.0
先天奇形・変形・染色体異常	2,463	3,788	4,275,232	0.1	0.1
所見で他に分類されないもの	25,909	40,505	47,924,088	1.4	1.6
損傷・中毒・その他の外因の影響	39,373	84,010	70,779,624	2.9	2.4
その他、不詳	34,844	66,773	55,141,503	2.3	1.9

図 6-2 日数割合-決定点数割合, 傷病分類別 (入院外)



注) 一般診療分のレセ電仕様明細書データのうち、傷病名 (SY) レコードに格納されている主傷病の傷病名コードが未コードであった場合は、不詳として表章している。

7. 1件当たり日数と1件当たり決定点数の入院－入院外・都道府県－指定都市－中核市別の状況

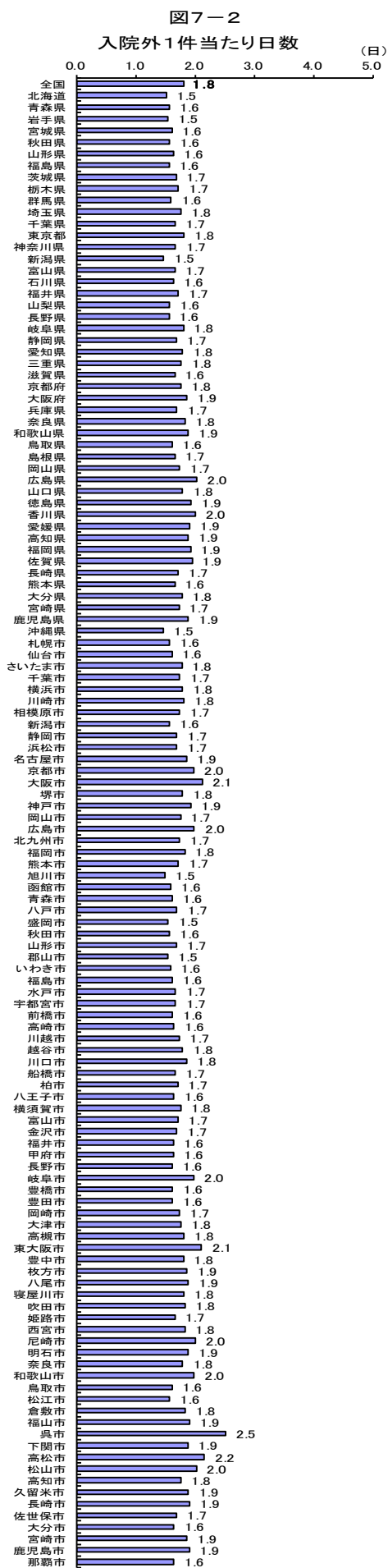
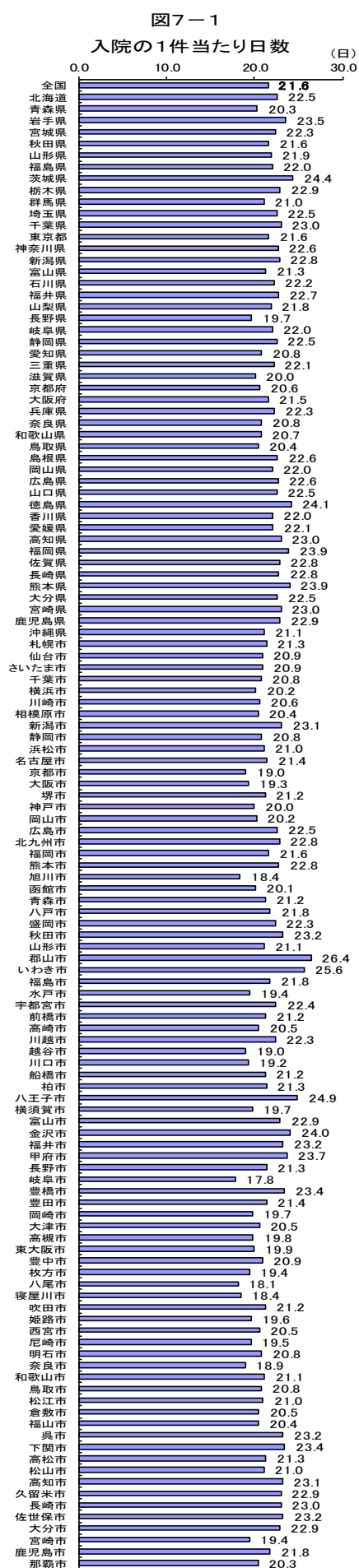


図7-3

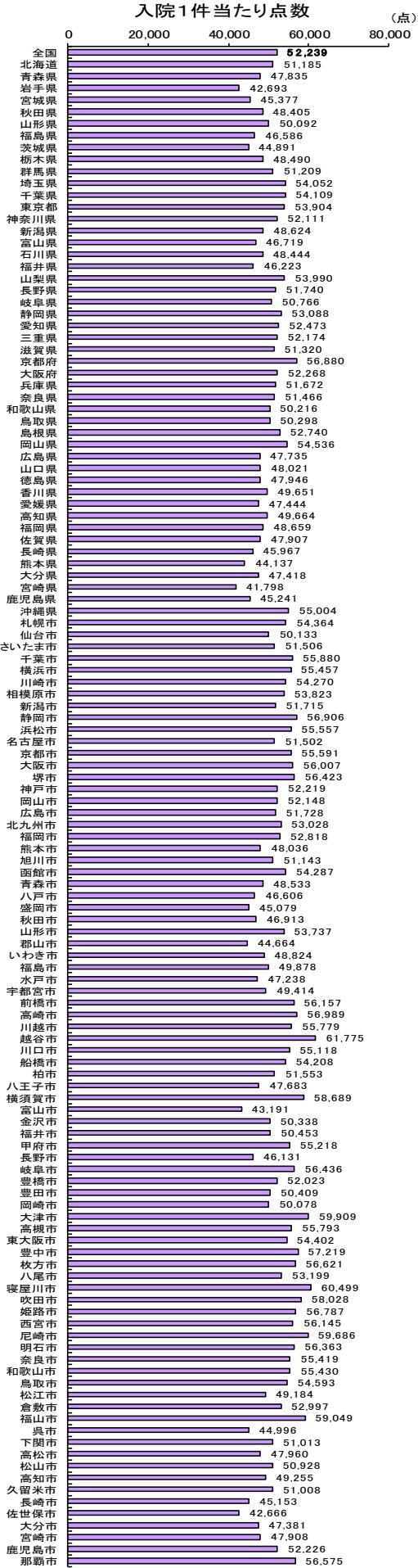
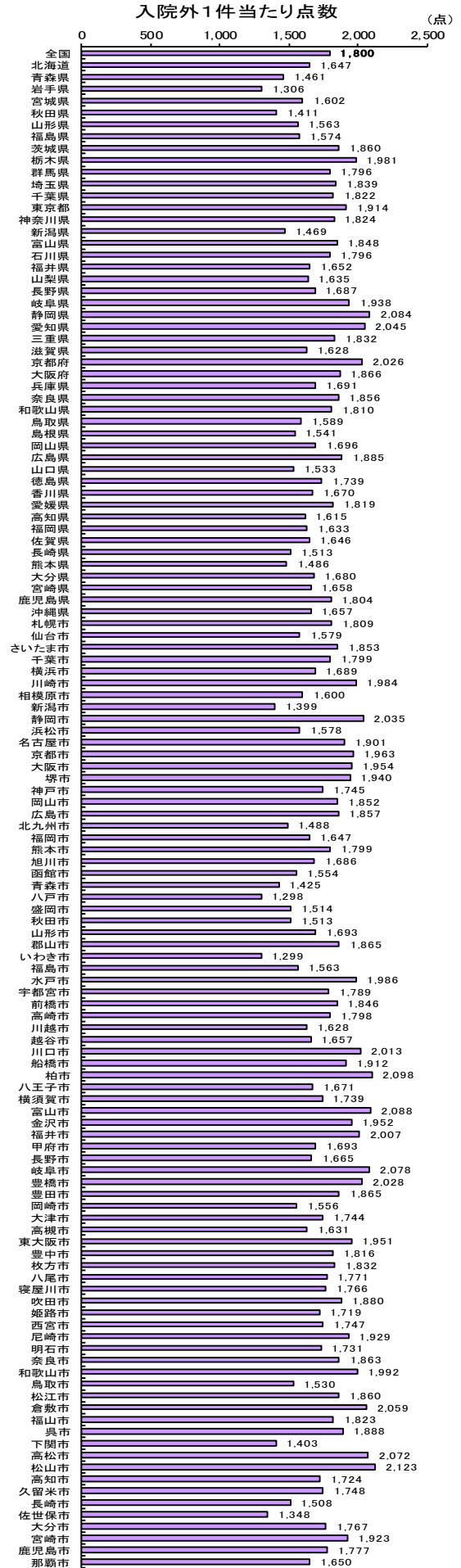


図7-4



## 【 調剤内容 】

### 8. 調剤行為の状況

1 件当たり点数は 1595.1 点、処方せんの受付 1 回当たり点数は 1168.8 点となっている。

1 件当たり点数を調剤行為別にみると「薬剤料」1207.3 点が最も高く、次いで「調剤技術料」317.9 点、「薬学管理料」64.2 点となっている。

処方せん発行医療機関別にみると、1 件当たり点数は「病院」2331.0 点、「診療所」1264.9 点、「歯科診療所」319.3 点、受付 1 回当たり点数は「病院」1821.0 点、「診療所」899.9 点、「歯科診療所」256.2 点となっており、いずれも「病院」が最も高くなっている。

表 1 1 件当たり点数－受付 1 回当たり点数－1 件当たり受付回数，処方せん発行医療機関別

調剤行為	処方せん発行医療機関			
	総数	病院	診療所	歯科診療所
1 件当たりの点数				
総 数	1,595.1	2,331.0	1,264.9	319.3
調 剤 技 術 料	317.9	318.3	319.7	137.4
薬 学 管 理 料	64.2	61.9	65.2	64.3
薬 剤 料	1,207.3	1,940.3	876.4	117.6
特 定 保 健 医 療 材 料 料	4.1	8.0	2.4	－
受付 1 回当たりの点数				
総 数	1,168.8	1,821.0	899.9	256.2
調 剤 技 術 料	232.9	248.6	227.4	110.2
薬 学 管 理 料	47.0	48.4	46.4	51.6
薬 剤 料	884.6	1,515.8	623.5	94.3
特 定 保 健 医 療 材 料 料	3.0	6.2	1.7	－
1 件当たりの点数受付回数				
	1.36	1.28	1.41	1.25

表 2 点数－件数－受付回数，処方せん発行医療機関別

調剤行為	処方せん発行医療機関			
	総数	病院	診療所	歯科診療所
点数				
総 数	2,006,425,795	927,288,268	1,076,172,789	2,964,738
調 剤 技 術 料	399,849,990	126,611,542	271,963,062	1,275,386
薬 学 管 理 料	80,746,161	24,635,672	55,513,824	596,665
薬 剤 料	1,518,596,098	771,874,545	745,629,742	1,091,812
特 定 保 健 医 療 材 料 料	5,208,906	3,165,499	2,042,953	454
件 数				
件 数	1,257,884	397,807	850,793	9,284
受 付 回 数	1,716,687	509,216	1,195,899	11,572

注)「薬剤料」は、調剤報酬明細書の「処方」欄に記載された用量、「調剤数量」欄に記載された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料をいう。

### Ⅲ 用語の解説

#### 件数

1 か月ごとに提出される明細書 1 枚を 1 件としている。外来患者が当月中に入院した場合は、入院外で 1 件、入院で 1 件となり、それぞれ 1 件ずつ計上している。

#### 日数

入院では当月中の入院日数のことであり、入院外では当月中の外来、往診等で医師の診療を受けた実日数のことであって、傷病の始期から転帰までの日数ではない。

#### 決定点数

診療報酬点数表、診断群分類点数表及び調剤報酬点数表に定められている点数で、1 点を 10 円とするものである。

#### 薬局調剤

健康保険法等に基づく療養の給付の一環として、医療機関の保険医が患者に交付した処方せんに基づき、保険薬局において保険薬剤師が行う調剤業務をいう。

#### 受付回数

保険薬局で当月中に処方せんを受け付けた回数をいう。

#### 後発医薬品

新医薬品等とその有効成分、分量、用法、効能及び効果が同一性を有するものとして承認された医薬品（いわゆるジェネリック医薬品）。